

## 第 5 回 IT を活用した教育センターワークショップを開催して

昭和大学歯学部長 宮崎 隆

平成 24 年度に文部科学省の大学間連携共同事業として採択された「IT を活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成プログラム」につきましては、連携校である北海道医療大学ならびに岩手医科大学と力をあわせて、さらに各歯科医師会との連携のもとに着実に事業を進めています。3 月 27 日（木）に第 4 回目のワークショップを開催したのがつい先日のような感じがしますが、このたび 6 月 26 日に、昭和大学旗の台校舎において、第 5 回のワークショップを開催しました。前回同様に、事前に準備した資料に基づき、各グループで熱心な討論が行われ、充実したプロダクトが作成できたと思います。

文部科学省は「歯学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議」の提言を受けて、歯学教育の質向上のための施策を打ち出しています。その中で、歯科医師が医療人として超高齢社会における歯科医療にどうかかわるかが中心的な課題になっています。本プログラムはこれに真っ向から取り組んでいるもので、連携 3 大学の教育だけでなく、将来全国の歯科大学・歯学部のカリキュラムのモデルになると同時に、歯科医師の生涯教育のツールにもつながると期待されます。

ワークショップの回を重ねるに連れて、参加者の共通意識が高まってきたようで、今回はこれまで以上に実りある討論と成果が達成されたと思います。次回は 11 月に開催を予定していますが、本学を含めて、IT 教材を実際の授業で活用し、その評価をもとにさらに発展できるようにしたいと考えています。

最後になりましたが、忙しい時期にも関わらずご参加いただいた各大学ならびに歯科医師会の先生がた、そしてワークショップの運営にご尽力いただいた教育センター、協力 IT 企業、ならびに各大学の事務関係者に篤く御礼申し上げます。